

東京武蔵野多摩ワイズメンズクラブ

東京YMCA西東京センター内 〒186-0002 東京都国立市東 1-4-20-102

TEL 042-577-6181 FAX 042-577-5574

2014年6月 (No.12)

今月の聖句

敵を愛し、あなたがたを憎む者に親切にしてください。悪口を言う者に祝福を祈り、あなたがたを侮辱する者のために祈りなさい。あなたの頬をうつものにはもう一方の頬を向けなさい。上着を奪い取る者には、下着をも拒んではならない。求める者には、誰にでも与えなさい。

ルカによる福音書6章27節—30章

主題

国際会長	Poul V. Thomsen	「全ての世界に出て行こう」
アジア地区会長	岡野 泰和	「未来を始めよう、今すぐに」
東日本区理事	渡辺 喜代美	「いざ立て」
あずさ部長	藤江 喜美子	「心を一つに あずさ部号前進」
武蔵野多摩会長	伊佐 節子	「健康第一！ちょっとだけ無理して頑張ろう！」

ワイズメンズクラブモットー

強い義務感をもとう 義務は全ての権利に伴う

五つの誓い

1. 自分を愛するように隣人を愛そう
1. 青少年のためにYMCAにつくそう
1. 世界的視野を持って国際親善をはかろう
1. 義務を果たしてこそ権利が生ずることをさたろう
1. 出席第一と奉仕第一とを旨としよう

ワイズメンズクラブの目的

1. 個人的にもまたクラブとしても、その奉仕活動を通じてYMCAの活動を支援する。
2. ワイズメンにふさわしい他の団体を支援する。
3. 地域社会や国際的な問題に関心を持ち、一党一派に偏らない正義を追求する。
4. 宗教・社会・経済・国際などの諸問題について会員達を啓発し、積極的に参加させる。
5. 健全な交友関係を作り出す。
6. この協会の国際・地域・区の事業を支援する。

4月出席率 在籍者11名 出席者10名 メイキャップ1名 ゲスト7名 出席率91%

ワイズメンズクラブに入会して

渡邊大輔

ワイズメンズクラブに入会してはや8ヶ月が経過しました。
その間、チーム未来、ユース事業委員会と関わらせてきてもらいましたが、
今、ワイズに求められているものは何なのでしょう。

国際憲法とガイドラインにも明記されていますが、「活発な奉仕活動を通じて、リーダーシップを開発、助長、提供して、全人類の為よりよき世界を築くべく尽力するものである。」という目標があるはずなのに、その目標から逸れてしまっていないだろうか。

今一度、原点に立ち返り自分たちの活動を見なおしてみる必要性があるのではないのでしょうか？

これから夏に向けてユース向けのプログラムが多数展開されていきますが、静観するのではなく積極的な関わりが必要になってくるのではないのでしょうか。

昨今いたるところで話題に上っている YVLF についてですが、近々ユース事業主任から正式な文書にて案内されると思いますが。

今年度の実施については、勘違いされている方もおられるみたいですが中止にはなっておりません。ユース事業委員会として組織した YVLF 実行委員会が解散しました。

今後、再度新たに実行委員会を組織し、YVLF 実施に向けて動き始めるはずです。

5月武蔵野多摩クラブ例会のようす

日 時 5月14日19時 場 所 YMCA西東京センター

司会 山本ワイズ 聖書・祈祷 小坂メネット 受付 野尻ワイズ

ゲスト 藤江あずさ部長 久保田ワイズ・八王子クラブ 飯野ワイズ・セントラルクラブ 宮村ワイズ・横浜つづきワイズメン&ウイメンズクラブ 後藤さんリーダーOB 永岡美咲さん (Y医療福祉専学校) 前々回のスピーカー

ゲストスピーカー 正木裕香さん 深海生物と深海の地温探求 サイエンスライター

「深海の不思議」

今回の例会会場はスピーカーのオーラに包まれたのか、恒例の原村合同例会で一緒松本クラブの正木メン・メネットのコメントで元ユース、初対面と思えぬ親しさからか話の途中「それで！それで！」と質問の続出、卓話は海流に流されているようで裕香さんは何博士なのか聞き忘れてしまった。

普段は横須賀にある海洋開発機構の海底資源研究開発センターで働いています。もうひとつサイエンスライターでコラムを執筆しています。出身は海の無い原村ですが母親が高知出身で子供のときから海のおい、船のおいに慣れ親しんでおり東海大学の海洋資源学科から大学院は高知大学から今の仕事場に進み一年の半分は海の上国内外の研究者共に研究生活をしています。

小学3年のときの研究発表テーマ「学校をなぜやすむの」でかかる病気、ピーク時を調べたり、「原村の人口の移り変わり」を調べたり、心の病気って何なのか父親に食い下がったりしていたことが現在の私の出発点かも知れません。

ユース活動でものにしたこと。ユース活動に参加したのはIYCができた1998年フィンランド・エストニアでハンディキャップの人たちへ街頭募金で始まりました、言葉と東洋人というハンデで自分にとっても満足できませんでした。それから十勝・台湾・シドニーで活動し、特にシドニーでは非常に満足する活動ができこれでユース活動は十分と思いユースから離れました。

得たもの国際的壁が無くなったこと、今でも当時の人たちと行ったり来たりきたりしています。自分もつ夫々のプロジェクトの目的意識と、行動力、協調性、自主性と主張ができリーダーシップをとれるようになったことは国内外の研究者と長時間を共にする船上生活にとっても重要でよかったと思います。

(ビデオプロジェクターを見ながら) ところで深海に植物はいると思いますか？・・・、光合成ができなくなると植物は生きていられません、真っ暗です、深くなるにつれて酸素は限りなくゼロに近づきますががあります。その酸素量で生きられる動物がいます、ゆりの花にそっくりなうみゆりという動物がいます1800Mです、二億五千万年まえの化石も出てい

ます。これは八重山諸島二百気圧の深さをくぐらせた泡盛ですなめてみてください！（まるやかで香りがとても・・・だった）深海はヒマラヤと同じ八千Mぐらいで一番深いマリアナ海溝は千九百十一Mです。海底資源には海底熱水鉱床やお宝レアアースやメタンハイドレートを含むマンガンクラストがあります。熱水鉱床は海底温泉で三百度以上ありレアメタルと言われるコバルト、マンガン、白金などがたまってゆきます。熱水活動の凄いところは原始地球を再現しています。次々に、熱水を好むチューブワーム、白い五右衛門腰折りえびの群れ、ひばり貝、ゆめなまこ・・・見たことも聞いたことも無い生き物や貝類とスクリーン上の深海水族館がくり広げられ、皆は深海イメージの構築にとんちんかんな質問や唸ったりしてまるで犬かきしているようだった。

熱水鉱床調査に、地質調査、海底マップ作り、熱流量調査などあり熱流量調査が私の専門で今海底かの温度を調べています。私の船上生活は年間 100 日です。国際的船上研究生活は階級性が厳しく 5:30 起床 7:00 朝食、7:30 ラジオ体操、デッキ作業研究活動と続く規律正しい生活でももちろん酒類持込厳禁です。（深海泡盛はもぐり？）次々と人間性豊かな話が続いた。

残念ながら私の仕事はデザイン中で一般プレスリリースまでお見せできません、頑張れば7月です。

熱水鉱床のそばに通称養殖かごの沈殿回収容器をセットしレアメタルを収集するという聞いているだけで嬉しくなってしまうアイデア。海上では領土問題で閑置あっているが深海では平和にと願った。尚、正木 裕香さんは、日本地理学界発行の科学雑誌に理学博士とありました。その後第三例会で「質問の続出で話しが蛇行、どうまとめようか」とボヤいたところ後日以下のような助け舟が届きました。

海のふしぎ

海洋研究開発機構海底資源研究開発センター

サイエンスライター

正木 裕香

世界ランキング 6 位。これが、日本の領海(沿岸から 12 海里)と排他的経済水域 (EEZ・沿岸より 200 海里) と呼ばれる、地域の大きさの順位です。陸上の面積の世界ランキングが 62 位に対し、島国である日本は海の面積では大健闘をしています。その分、海洋調査が世界水準に達している (はず) です。今回は、そんな日本周辺の“海のふしぎ”について話させていただきました。

300 度のお湯を見たことがあるでしょうか？その環境を作れるのは、圧力が高い環境でしか見ることはできません。すなわち、『深海』と呼ばれる場所です (一般的な圧力鍋でも不可能)。1000 メートル、100 気圧の水圧がかかる環境では、300 度に達する高温の温泉がなんと見ることができるのです。また、深くなるほど、光が届かなくなり、暗闇で過ごす生物が増えてきます。独特の生態系を気づき、彼らが生命の営みを育む環境には、海底熱水鉱床と呼ばれる彼らの住処があります。この住処には、重金属と呼ばれるレアアースを含む、比重の重い金属元素が沈殿し、時には濃集して海底に分布しています。

近い将来、こういった鉱床の成因や分布を調べるために、これまでよりも広範囲に掘削調査を行う予定です。高温での掘削調査は、リスクも大きく不安がいっぱいな要素が多数あります。しかし、そこにはまだ誰も見たことがない世界が、広がっていることを確信しています。次の“海のふしぎ”を、心からお楽しみにしていてほしいと思います。

※冒頭の世界ランキングは Wikipedia からの引用です。

<西東京 YMCA 便り>

6月となりました。日中は汗ばむほどの気温となり、日に日に夏が近づいてきたことを感じています。

先日、西東京センターでは、YMCAのプログラムの登録にかかわらず、幼児・小学生を対象とした日帰りプログラム「ワンデイトリップーズ」を開催いたしました。YMCAのプログラムを低料金で体験していただき、YMCAを知り、つながっていくことへのきっかけとなることを願い、昨年度より実施しています。当日は、雲一つない晴天のもと60名を超える子どもたちが参加し、リーダー・スタッフを合わせると90名ほどの大きなイベントとなりました。

さて6月からいよいよサマープログラムの申込み受付が開始いたします。同時に、ボランティアリーダーたちとのキャンプに向けたミーティングや、山中湖センターをはじめ、実際に使用するキャンプ地での実技リーダートレーニングなど、それぞれのキャンプに向けた準備も始まってまいります。今年も多くのプログラムの中で、子どもたちをはじめ、たくさんの参加者やリーダーたちの笑顔に出会えることを今から心待ちにしております。

この夏実施される一つひとつのプログラムが、無事に行われ、豊かなものとなるように、リーダーたちとともにしっかりと準備してまいりますので、引き続きお支えいただきますよう、どうぞよろしくお願いいたします。

村山 達哉

<西東京センター及び東京 YMCA の主な予定>

- 6/1 知的障がい児・者 余暇活動「あおぞら・つばさの会」6月例会
発達障がい児 グループ活動「Smile」6月例会（小学生）
- 6/2 ディレクターキックオフ
- 6/3 サマープログラム申込み受付開始（維持会員及び定例活動登録者）
- 6/5 サマープログラム申込み受付開始（一般）
- 6/7-8 知的障がい児・者 余暇活動「シャベルズ・いづみの会」6月例会（一泊会）
- 6/10 座学リーダートレーニング（対象理解）
- 6/15 発達障がい児 グループ活動「Smile」6月例会（中学生）
幼児野外活動「にこにこ」6月例会
小学生野外活動「ロビンソン」6月例会
中学生グループ活動「TeenS」6月例会
- 6/17 座学リーダートレーニング（リーダーの役割）
- 6/20-22 実技リーダートレーニング（東京 YMCA 山中湖センター）
- 6/27-29 実技リーダートレーニング（ぐんま YMCA 赤城キャンプ）
実技リーダートレーニング（東京 YMCA 野尻キャンプ）

卓話「東京YMCA少年部と私・にんじんぐるーぷの奇跡」青山 南海男氏、中学2年野尻キャンプに参加以来、中・高・大・成人そしてジュニアと2代Yに深く関わってきた方。本職はアイデアが命！プランニング&クリエイティブディレクター。これからのYとYsの関係と姿にヒントが楽しみです。

ハッピーバースデー 竹中ワイズ '33. 6. 4

6月例会の役割 受付野尻ワイズ 司会宮内ワイズ 聖書・祈祷山口ワイズ